

## 山の博物誌 ③七松の森の秋(三田市高平)

三田市高平の七松の森は北摂地域周辺の里山を代表するため池や雑木林を中心とした里山景観の保全を目的として公園として整備されています。

私がこの里山で一番好きな季節は秋。リンドウやオミナエシ、キキョウ、リュウノウギク他の秋の花がため池周辺や雑木林の陽だまりに咲き乱れ、ため池や周辺の湿地に生息する赤とんぼ達が出迎えてくれます。今回はこの赤とんぼ達を中心に紹介しましょう。

七松の森には七松下池、中池、上池、新池と一番奥に昭和池と合計5個のため池が流れに沿うようにして連なっています。池周辺にはコナラを主体とした明るい雑木林が広がっ



ていて、その奥には端麗な姿の烏ヶ岳が聳えています。秋の陽だまり散歩にはもってこいの里山です。ため池にはコウホネやヒツジグサが咲いています。

ため池を巡る道をたどってゆくと真っ赤に成熟した赤とんぼが出迎えてくれます。市街地周辺や麓の田んぼでみられるアキアカネやナツアカネに加えて、マユタテアカネやヒメ



アカネ、リスアカネ、キトンボ、ネキトンボが観察できます。さらに、青色をした赤とんぼ、ナニワトンボが生息しています。赤とんぼというのは分類学上、アカネ属に属するトンボの俗称

であり、そのアカネ属に属する青いトンボがナニワトンボという訳です。このトンボ、兵庫県ではまださほどではありませんが、各地で絶滅が危惧されている貴重なトンボです。



マユタテアカネ



ナニワトンボ



ヒメアカネ

限られた紙面なので、ナニワトンボ、マユタテアカネ、ヒメアカネの写真を載せておきます。

秋晴れの日、麓の高平のつくしの里から蕎麦の白い花、ヒガンバナの咲く道を通ってこの七松の森を散歩すると、きっと新しい発見があります。烏ヶ岳に足を延ばすと尚一層充実した散歩となります。ぜひお出かけください。